Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

川崎市立川崎病院 救急科 スタッフ・専攻医募集

2025年7月更新

一緒に働きませんか？ １つでも当てはまったら当科での勤務&研修がオススメです！

- 救急科専門医として必要な基本的な手技を身に付け、軽傷～重症患者(外傷を含む)に対して適切な初期対応ができる医師になりたい。
- 救急科専門医の取得は考えていないが、短期間のER研修がしたい。
- 3次救急はやってみたいけど、殺伐とした職場は嫌だ！
- 家庭や趣味も大切にしたい！
  (育休取得した男性医師もおります)
- 初期研修では足りなかった他科での研修や超音波・放射線読影・内視鏡を学びたい！
- 川崎DMATに参加したい！

2026年11月、新・救命救急センター病棟稼働予定！

ER・専門病棟ともに
新棟として新しくなります！

川崎市立川崎病院
再編整備計画（予定図）

規模の拡大に伴い
一緒に働くメンバー
大募集です！

ER型救急だから
軽傷~重症までバランスよく経験可能

・当科は**救急車で来院する2-3次救急患者**に対応しています。

(2021年度救急車応需率 ３次：90.4%, ２次：76.3%　救急搬送患者数5834人)

・当院の立地する神奈川県川崎市川崎区には、
繁華街・住宅街・工場地帯、高速道路などがあるため、
内科的な救急疾患に加え、外傷・中毒・精神科救急など、
疾病のバラエティがかなり豊富です！

例）敗血症性ショック、心筋梗塞、重機に挟まれたデグロービング損傷、
交通事故による開放骨折、高所転落による血気胸、過量内服など

※専攻医が複数いても**症例に困ることがありません！**

【身体・メンタルに無理のない勤務体系】

- ERは 8:30–17:00、17:00–翌8:30の2交代制です。
- 日勤は月5–10回、夜勤は月6回以下の勤務が基本です。
- 夜勤明けは、朝8:30に引き継ぎをしたら業務終了です。
- 毎週火曜日8:45–10:00(目安)にカンファレンスを行っています。
- 症例の振り返りや論文読会などを担当持ち回りで実施しています。
- オンラインツールを用いており、当日が「非番」の人はどこからでも参加が可能です。
- 毎月のシフト作成時に、勤務不可日を申請できます。

「夜勤多め」で希望した専攻医のERシフト例

夜勤が好きな人は
「多め」を希望もできます！
連休もありますよ！

【日常での手技の一例】

- 上下肢の脱臼骨折の整復固定
- 肩関節脱臼の整復
- シーネ固定
- 膝関節穿刺
- 胸腔ドレーン挿入
- 輪状甲状靱帯切開
- A ライン挿入
- CVC挿入
- 腰椎穿刺
- 縫合（真皮縫合を含む）
- バイポーラを用いた止血
- 気管挿管

【研修紹介①】

・勤務終了後や勤務の空き時間を使って救急科のスタッフと研修医で、その日に経験した症例の振り返りを行っています。
格式ばった堅い雰囲気は全くありません！

・研修医に指導することが勉強になりますし、研修医から学ぶこともあります。
日々の積み重ねが、日々の診療の質向上への近道だと考えています。

【研修紹介②】

- メンバーは皆、優しく、分からないことは指導医に質問しながら診療することができます。
- 全国様々な出身大学の医師が集まっています。
  また、プライベートでも大学院で勉強中の方、
  子育て中の方、趣味で世界を駆け巡っている方
  などバラエティに富んでいて楽しいです。
- これからも多様性を大切にし、お互いを尊重
  できるような組織を築きたいと考えています。

在籍専攻医：(2年目) 2人、(1年目) 4人
(内は救急科年数)

【多彩で柔軟な連携施設・他科研修】

・3年間のうち原則9ヶ月間、院外や院内の他科で研修が可能です。
　→当院救急科での研修で不足しがちな集中治療や地域医療の経験を
　　積むことが可能です。

・院内他科研修の過去受け入れ実績は、総合内科、循環器内科、外科、
　血管外科、脳外科、整形外科、形成外科、放射線科、精神科など。

連携施設の例

連携施設には、慶應義塾大学病院、聖マリアンナ医科大学病院

日本医科大学武蔵小杉病院、平塚市民病院、川崎市立井田病院があります。

見学・ご質問はこちらへ

川崎市立川崎病院庶務課 庶務課担当

83kawent@city.kawasaki.jp

少しでも興味を持たれた方は、是非、見学にいらしてください！

スタッフ一同、お待ちしております。